

成育母子コホート研究（第Ⅲ期・第Ⅳ期）に ご参加いただいているみなさんへ

登場人物



ドクターA

ドクターB



参加者C



参加者D



被験者E



成育と別の施設で共同研究をしようとしていて、以前、頂いた血液を詳しく調べたいので、少し説明させてください。

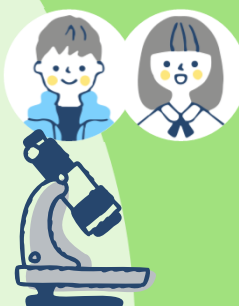


今はもうそんなにニュースになってないけど、少し前まで、新型コロナウイルスで大変でしたよね。

なんか大変だった気がする…
黙食とか、3密回避とか、ソーシャルディスタンスとか、それとなにか関係あるんですか？



新型コロナウイルスのような感染症が将来再び蔓延《まんえん》する可能性がないとは言えません。もしそうなったら、みんなで力を合わせて、感染症と戦わないといけなくなりますよね。これは、その戦いの準備をするための研究です。



感染症との戦いの準備に、何を調べるんですか？



血液の中には、遺伝子（DNA）やたんぱく質など、体の状態を表す“目印”がたくさんあって、この“目印”は、一人ひとり違います。この“目印”を広くたくさん（網羅《もうら》的に）調べることを **<オミクス解析>** といいます。

今回の研究では、
どんな人がどんな感染症にかかると重症化しやすいか、
どんな人がどんなワクチンを打つと効果が出やすいか、
などを調べるための準備をします。

わかったような、わかんないような・・・。





たとえば、被験者Eさんが新しいワクチンを打ちました。その効果は抜群に良かったとします。

被験者Eさんの血液の“目印”を調べると、ワクチンの効果が出やすい理由がわかるかもしれないんです。



なるほど。



でも、なんで新しいワクチンを打っていない人の“目印”を調べるんですか？



実は、被験者Eさんの“目印”だけ調べても、ワクチンの有効であった理由も、どんな人に新しいワクチンの効果が出やすいかもわかりません。

前もって、たくさんの方の“目印”を調べておいて、その結果と被験者Eさんの“目印”と比べることで鍵になります。

今回の研究では「たくさんの方の“目印”を調べておくこと」が目的です。



そっか、だから感染症と戦うための準備って言ったんですね。



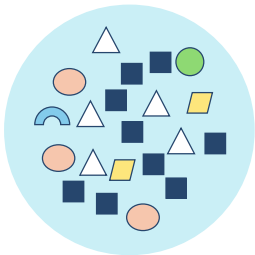
ちなみに、この研究のために、新しく採血することはないですし、新しいワクチンを試しに打ってもらったりすることはありません。



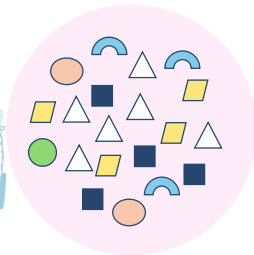
今回の研究

たくさんの方の血を調べる

参加者Cの“目印”たち



参加者Dの“目印”たち



将来の研究の例

どんな人が、ワクチンの効果バツグンか調べる！



被験者Eの保護者

被験者Eのワクチン接種を見守った



被験者E

新しいワクチンが効果バツグン

今回の研究で調べておいたたくさんの方の血と比べる。

被験者Eの“目印”たち

